

奥行きを感じる

展覧会名称	奥行きを感じる
会期	2014年1月18日(土)～1月26日(日)
開館時間	11:00～19:00(最終入場18:45まで)
休館日	月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜休館)
主催	京都市立芸術大学
会場	京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA ギャラリー A
観覧料	無料
お問い合わせ	京都市立芸術大学企画広報課 075-334-2204 infokcua@gmail.com

この展覧会は、京都市立芸術大学の各専門領域を横断しながら研究を行う授業「テーマ演習」枠で、2012年度より行われている「奥行の感覚」の成果報告です。

この授業には彫刻専攻、陶磁器専攻、日本画専攻、哲学研究室、宇宙物理学研究室の各教員が関わり、そこにあらゆる専攻の学生が参加し研究を進めています。

私たちが手掛かりとしている「奥行の感覚」は、古今東西のあらゆる芸術表現を紐解くためのキーワードとしてあります。これまで、およそ、図像学や社会文化史、精神史、また美術の様式等を土台としてしか語られてこなかった作品評価とは違い、“造形”を手掛かりに実制作者の視点から表現を読み解き、新たな解釈を見つけ出すべく研究を行っています。

今回の展示では、2012年度から今年度前期に行った研究の成果を、その過程で生み出された作品と結果の考察を交え、紹介いたします。是非、この機会をご覧ください。

■参考写真



課題「ジャコモッティのモデリング」



課題「黄色い絵」学生作品